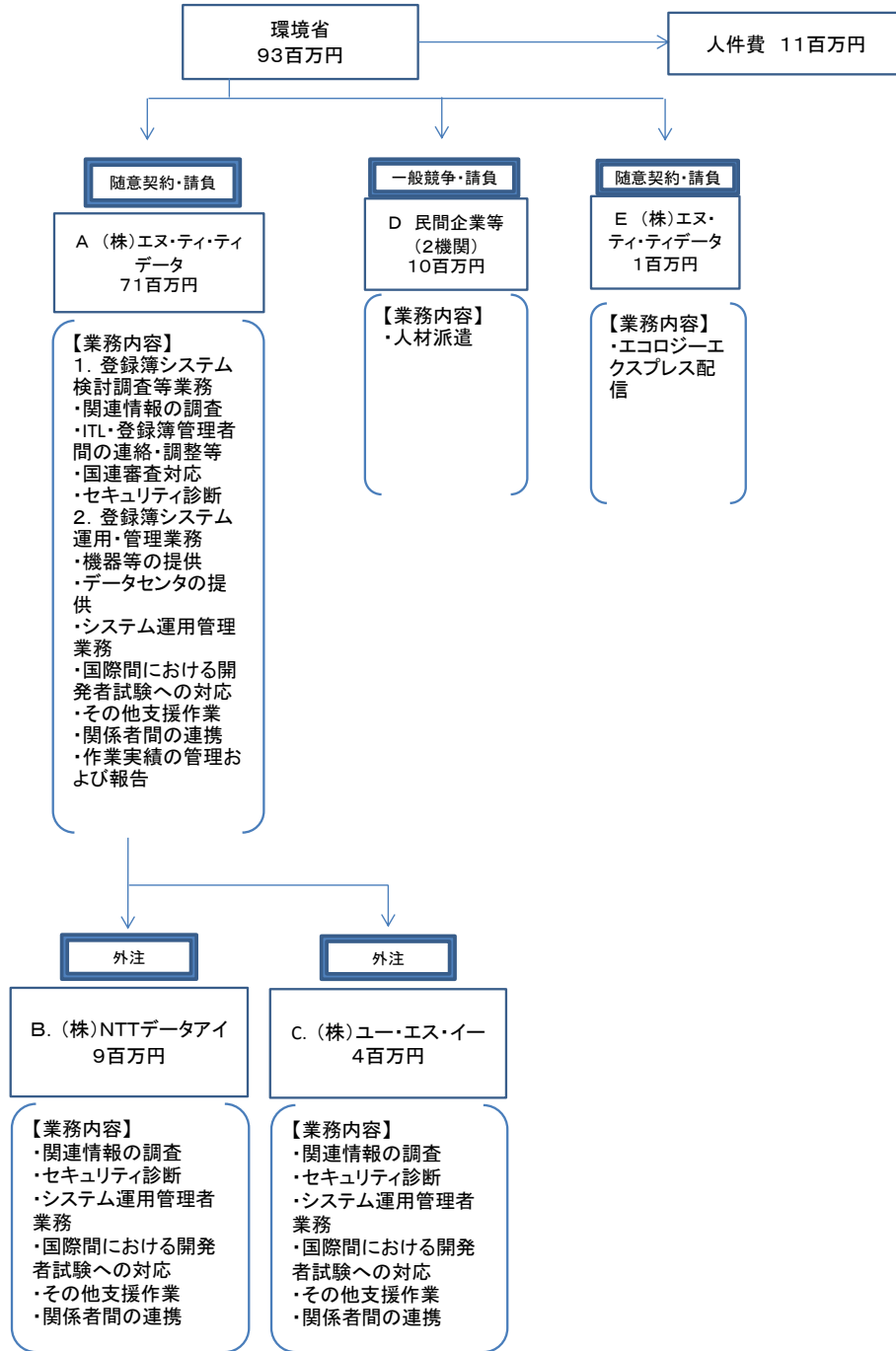


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	京都メカニズム運営等経費		担当部局庁	地球環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度～未定		担当課室	地球温暖化対策課市場メカニズム室		室長 熊倉 基之		
会計区分	一般会計 エネルギー対策特別会計(エネルギー需給勘定)		政策・施策名	1. 地球温暖化対策の推進 1-4 市場メカニズム等を活用した海外における地球温暖化対策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	地球温暖化対策の推進に関する法律第29条		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国別登録簿システムは、京都議定書に基づく割当量単位や京都メカニズムによるクレジットの発行、保有、移転、償却等を行うための電磁的な登録簿であるが、京都議定書に基づき附属書I国が各国ごとに設置する義務を有しており、我が国の京都議定書の排出削減目標の遵守や、京都メカニズム活用の必要要件とされており、同システムを適切に整備・運営管理する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	京都メカニズムの活用に必要な国別登録簿の運用・管理を継続的に行うとともに、気候変動に関する国際連合枠組条約事務局が主体となって作成された技術仕様の変更等へ適切に対応する。その他、京都議定書第二約束期間に向けた対応、セキュリティ対策や利便性の向上等、必要な改修を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	96	76	88	99	92	
		補正予算	—	—	—	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	—	
		計	96	76	88	99	92	
	執行額		85	77	93			
執行率(%)		89%	101%	106%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	継続的に京都メカニズムの活用を可能にするため、引き続き国別登録簿の運用・機能改修を行う。しかし、システムの運用・機能改修の成果を数値化することは困難。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	日本の管理口座にあるクレジット量(国連への報告量)		活動実績 (当初見込み)	百万t	6,132	6,189	6,225	— (—) (—) (—)
単位当たりコスト	0.015 (円/t-CO2)		算出根拠	(執行額)93百万円÷(クレジット量)6,225百万t-CO2e=0.015円/t-CO2e				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査等委託費	11	9	国別登録簿システムの機器改修費用削減に伴う減				
	二酸化炭素排出抑制対策事業等委託費	88	83					
計	99	92						

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		－	国別登録簿の整備については、平成14年7月19日の地球温暖化対策推進本部決定において、環境省及び経済産業省が共同で進めるとともに、国別登録簿管理者として共同で運営管理を行うこととされている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		－			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の一般競争入札を実施することを関係省庁と協議したが、一般競争入札の実施は困難であるとの結論に至った。 ・これまでの業務実績を踏まえ、日次、週次、月次作業の見直しなど、業務内容の精査を行った。 		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		－				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	国別登録簿は、京都議定書に基づき附属書Ⅰ国が各国ごとに設置する義務を有しており、我が国の京都議定書の排出削減目標の遵守や、京都メカニズム活用の必要要件とされている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		－			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	本システムは経済産業省との共管であり、環境省が維持運用、改修を行い、経済産業省が開発、国連対応という役割分担がされている。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
		京都メカニズム推進基盤整備事業	経済産業省 産業技術環境局			
点検結果	極めて専門的な知識等が必要なことから、平成14年度から現在の事業者と契約しているが、引き続きコスト低減を図っていく。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	－					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	006	平成23年	005	平成24年	005	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)エヌ・ティ・ティデータ			E.(株)エヌ・ティ・ティデータ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	登録簿システム検討調査等業務、登録簿システム運用・管理業務等	30	雑役務費	エコロジーエクスプレス配信	1
賃料及び損料	機器、データセンター等借料	27			
通信費運搬費	回線費用	1			
外注費	B業務	9			
外注費	C業務	4			
間接費					
計		71	計		1
B.(株)NTTデータアイ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	定常的保守作業等	9			
計		9	計		0
C.(株)ユー・エス・イー			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	定常的保守作業等	4			
計		4	計		0
D.(株)朝日エンジニアリング			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	人材派遣	5			
計		5	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・ティ・ティデータ	<ul style="list-style-type: none"> ・登録簿システム検討調査等業務 ・登録簿システム運用・管理業務 	71	随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)NTTデータアイ	<ul style="list-style-type: none"> ・関連情報の調査 ・セキュリティ診断 ・システム運用管理者業務 ・国際間における開発者試験への対応 ・その他支援作業 ・関係者間の連携 	9	—	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ユー・エス・イー	<ul style="list-style-type: none"> ・関連情報の調査 ・セキュリティ診断 ・システム運用管理者業務 ・国際間における開発者試験への対応 ・その他支援作業 ・関係者間の連携 	4	—	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)朝日エンジニアリング	人材派遣	5	1	97%
2	(株)ティム・プランニング	人材派遣	4	1	96%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・ティ・ティデータ	エコロジーエクスプレス配信	1	随意契約	—